資料１－２

新たな類型を構成する「医療」「介護」「住まい」の視点の例

住まい機能の強化	想定される利用者像	提供される医療機能	必要なサービス提供体制	提供される介護機能
医療を内包した施設類型	日常的な医学的管理を長期にわたり継続して必要とし、かつ、一定程度の介護も必要となる者	日常的な医学的管理程度の医療	夜間・休日における当直体制	適切な介護サービス（入浴、排泄、食事等）
	基礎疾患の症状が重いなど医療の必要性が高い等の理由により、容体が急変するリスクを抱える者	夜間・休日における医療	想定される中心的な状態に応じた医療に関する人員・設備	
		看取り・ターミナルケアを行う機能		
医療を外から提供する、住まいと医療機関の併設類型	医療の必要性の程度は多様だが、容体が比較的安定している者	生活機能の維持向上のためのリハビリテーション	「住まい」としての構造設備	